

平成30年度事業報告

1 社会福祉法人杉の子

<経営理念>

社会福祉事業を通じて地域社会・住民、高齢者、利用者様ご家族において、「思いやりや親切な心を持ち続け」て、信頼関係を築く。

<経営方針>

- 一、サービス提供の質の向上に努めます
- 一、決められた責任と権限の明確化を図ります
- 一、働きがいのある職場環境を目指します
- 一、健全な財務規律の確立、適正な収益確保を目指します
- 一、地域社会との連携に努めます

<施設運営理念（方針）>

- 一、利用者様ひとりひとりを大切にします
- 一、生活の場を提供し、家庭的な雰囲気の中でサービスの利用をして頂けるよう努力します
- 一、地域に開かれ、だれでも気軽にお越し頂けるようにします
- 一、利用者様の尊厳を重視します
- 一、どのようなサービスを利用したいか、利用者様の身になって考えサービス提供を行います

<平成30年度理事会・評議員会・監事監査>

1) 監事監査の実施

平成30年5月10日（法人及び拠点の業務・会計監査）

2) 理事会の開催

第1回 平成30年5月27日

「議決承認事項」

第1号議案、平成29年度事業報告及び監事監査報告、計算書類等及び付属明細書

第2号議案、平成30年度定時評議員会の招集について

第2回 平成30年11月11日

「議決承認事項」

第1号議案、平成30年度資金収支第1次補正予算

第2号議案、給与規程の変更

第3号議案、居宅介護支援センター中央本町介護報酬返還について

第3回 平成31年3月24日

「議決承認事項」

第1号議案、平成30年度資金収支第2次補正予算

- 第2号議案、2019年度事業計画及び当初予算
- 第3号議案、育児、介護休業規則に関する規程の変更
- 第4号議案、継続雇用制度(再雇用)に関する規程の変更
- 第5号議案、就業規則の変更
- 第6号議案、運営規程の変更
- 第7号議案、経理規程の変更

3) 定時評議員会の開催

第1回 平成30年6月10日

「報告事項」

平成29年度事業報告及び附属明細書並びに監事監査報告

「議決承認事項」

第1号議案、平成29年度計算書類等及び附属明細書

4) 収支改善

介護保険収入は前年度対比で1.98%の増加になりました。

5) 補助金及び助成金等事業実績

障害者雇用納付金制度の障害者雇用基準を上回り調整金を受領しました。

9) 社会福祉充実残高

平成30年度決算では社会福祉充実残高は算出の結果残高はありません。

平成 30 年度事業報告

2 片岡杉の子園

<施設全体>

- ・短期入所を制限付きながら再開いたしました。施設内に不安もありましたが何度も話し合いをし、困難を一つ一つ職員全員で乗り越え、利用目標を達成することができました。
- ・毎年利用率が低下する原因であります感染症に対しては、感染症予防を職員全員が強い意識を持って感染症拡大を最低限で防ぐことができました。
- ・地域との交流としては、ふれあい広場・吉田町文化展・片岡区文化展など毎年参加していますが、島田大井川マラソンと吉田町駅伝大会にも職員が参加しました。
- ・職員不足の現状の為、外部研修には数多く参加することは出来ませんでした。内部研修を充実させ多くの職員が参加することができました。

<ボランティアの状況>

平成 30 年度は下記の個人・団体の方に御協力いただきました。 (順不同)

平井幸子様・佐藤ちえ様・久保田智恵子様・あじさいの会様・
あった歌会様・歌唱クラブ様・川本静栄様・尾崎秀也様・山田清枝様・中国文化会様

<寄付者一覧>

平成 30 年度は下記の個人・団体の方からご寄附をいただきました。 (順不同)

池田康広様・紅林雅子様・島田法人会様・J Aハイナン様・片岡西町内会・小林紀子様
片岡区自治会様・松林篤様・村松三十里様・吉田町民生委員協議会片岡区様・鈴木恵美子様
吉永鈴江様・大石清吉様・野中正志様・

1 介護老人福祉施設

- ・研修計画に則して毎月内部研修を実施し、職員のスキルアップとサービスの向上を図りましたが、外部研修への参加は例年より減少しました。
- ・施設内が明るい雰囲気を感じられるよう環境作りに努めました。
- ・長期と短期の入所者様が同じフロアをご利用になられているため利用者様一人一人が安全で満足した暮らしが継続できるよう努めました。
- ・毎日、口腔体操と口腔ケアを実施し誤嚥性肺炎を予防しました。
- ・日常生活の中から状態の変化を的確に捉え、疾病の早期発見、早期対応に努めました。
- ・感染症予防委員会と共同して研修を開催し、全職員に予防策や発症時の対応を周知徹底し感染症の拡大を防ぎました。
- ・ご家族との関わりを大切に、他部署との連携を取りながら生活や看取りケアのサポートを行ないました。
- ・食材費のコントロールと利用者様に好まれる食事の提供に努めました。
- ・栄養会議の充実を図り緊急時にも他部署との協議していく体制を整えました。
- ・他部署との共通の認識を持って栄養管理に努めました。

- ・ 厨房内のミスが目立ちました。厨房委託業者へ厨房職員の教育についてお願いしました。

2 短期入所介護

- ・ 年間を通して安定した営業を継続することができました。
- ・ 個別ケアで、より良いサービス提供に努めました。
- ・ 利用者様やご家族の体調確認を実践することで感染症を予防する事が出来ました。

3 通所介護

- ・ ケース会議を実施し利用者様一人一人のケースについて職員間で理解し検討しましたが、後期は職員不足のため残念ながら実施できない期間が続きました。
- ・ 内外の研修に積極的に参加し、知識を深めました。
- ・ 認知症等で、自己選択や自己決定することが困難な方が増えてきたため活動内容にも工夫が必要になってきました。今後も職員で検討し工夫していきたい。
- ・ 感染症予防に努め感染症拡大を最小限に抑えました。

4 地域密着認知症対応型通所介護

- ・ 重度の認知症のため対応困難と思われた利用者様の受け入れをすることで、職員が経験や学習をとおしてレベルアップにつながった。
- ・ 個別ケアを重視し丁寧な対応をすることができました。それによりご家族や事業所からの信頼を今まで以上に得ることができました。
- ・ 公園散策、外食外出等を実施し利用者様に大変喜んでいただけました。
- ・ 認知症予防に特化したレクリエーションをもっと取り入れていかなければいけないと感じた。

5 居宅介護支援事業所

- ・ 不確実な事や不明瞭な点については保険者や包括への確認を行い、介護保険の理念や適切な給付の中で必要なサービスを提供できました。
- ・ 総合事業については研修や説明会に積極的に参加して正しく理解することで、利用者様やご家族へ分かりやすく説明を的的確に活用していただけました。
- ・ 医療系サービスや障害者サービスについては、情報収集をする為、事業所や市町へ訪問等を行ない自らのスキルアップを図ることができ、利用者様やご家族への情報提供ができました。

6 訪問型サービスD（移動支援）

- ・ 毎週火曜日 かがやき（デイサービスB）の利用者様の送迎業務を実施。
- ・ 安全に送迎業務に取り組みました。
- ・ 住吉杉の子園の協力いただいて実施しています。

7 地域における公的な取り組み

ふれあいの場「野いちご」

- ・ 毎月第1、第2金曜日 10時から12時 片岡会館
- ・ 地域の仲間づくり、認知症予防、介護相談を目的に開催。

- ・ 特別支援学校との交流も積極的に実施しています。今年度も引き続き支援学校の生徒と野いちごの利用者様と交流を図り、活発な活動を実施します。
- ・ ボランティアと参加者が一緒になって活動内容などを考え運営しています。

平成30年度 月別防災訓練実績

特別養護老人ホーム片岡杉の子園

片岡杉の子園デイサービスセンター

月日	種別			訓練内容	訓練実施時間	参加予定人数			反省	
	地震	火災	土砂			職員		利用者		
4月 25日		○		火元設定2階 避難誘導訓練	デイ日中想定 特養日中想定	14:00～14:30	12	特養・短期 通所	33 13	防火扉の閉め忘れ等、初歩的なミスがあった。 繰返し訓練が必要
5月 23日		○		新人職員への消火設備の説明 誘導訓練は中止		14:00～14:30	6	特養・短期 通所	0 0	利用者様の救急搬送があったため、避難誘導訓練は中止。 訓練分担表の見直しを検討した。
6月 21日		○		安否確認訓練 火元設定1階 避難誘導訓練	デイ日中想定 特養日中想定	14:00～14:30	全員	特養・短期 通所	27 20	避難経路に障害物があった。常に注意が必要。 階段による誘導訓練、消火器取扱い訓練 6/20実施
7月 25日			○	土砂崩れの避難誘導訓練	デイ日中想定 特養日中想定	14:00～14:30	11	特養・短期 通所	34 15	夜間時の不安は大きいので夜間マニュアルの検討が必要
8月 24日	○			警戒宣言発令 避難誘導訓練	デイ日中想定 特養日中想定	14:00～14:30	18	特養・短期 通所	30 16	地震直後の各自の安全確保に努める事を繰り返し指導した。
9月 27日	○			発電機取扱い確認 避難誘導訓練 安否確認	デイ日中想定 特養日中想定	14:00～14:30 10:00	全員	特養・短期 通所	29 20	防災頭巾をかぶると声を通じにくくなるため危険な場合がある。物が落下する危険箇所がある。
10月 29日	○	○		地震後に2階より出火	デイ日中想定	14:00～14:30	6	特養・短期 通所	0 17	(特養は中止。デイサービス実施した。) 体調不良やケガ人の確認の仕方を丁寧に行う。
11月 28日		○		安否確認訓練 非常食確認 消防署立ち合いでの訓練	特養夜間想定	10:00 14:00～14:30	全員	特養・短期 通所	21 0	(デイサービス中止。) 火災避難誘導訓練後に消防署職員と意見交換実施。非常食の確認を実施。
12月 18日		○		火元1階 避難誘導訓練	デイ日中想定 特養夜間想定	14:00～14:30	20	特養・短期 通所	26 17	スムーズに実施に実施できた。
1月 24日		○		スプリンクラーの止め方確認 避難誘導訓練	デイ日中想定 特養夜間想定	14:00～14:30	13	特養・短期 通所	28 20	夜間設定時間を具体的に設定したので、シュミレーションし易かった。排煙窓を開けるタイミングについて確認した。
2月 27日		○		火元2階 避難誘導訓練	デイ日中想定 特養夜間想定	14:00～14:30	14	特養・短期 通所	24 13	避難誘導にあせってしまい防火扉を最優先することが出来ていなかった。
3月 27日		○		火元2階 避難誘導訓練	デイ日中想定 特養夜間想定	14:00～14:30	12	特養・短期 通所	28 15	職員同士が声を掛け合いながらできていた。職員全員が場面ごとの職員の動きを再度確認が必要。
年間の反省				<ul style="list-style-type: none"> ・消防職員との意見交換であらためて防火扉による安全区域を作ることの重要性を学んだ。 ・内部研修にて消火設備、避難誘導、非常食について確認できた。 						

平成 30年度 ひまわりの家 防災訓練実施表

月・日	種別	訓練内容	避難場所	実施時間	利用者 参加人数 (利用人数)	職員 参加人数	感想・反省
4月28日	火災	避難誘導	玄関	14:15～14:20	7	5	利用者全員参加。全介助利用者車椅子に移乗後誘導、3人の職員で行う。
5月12日	火災	避難誘導訓練 防災設備取扱い	愛宕神社	14:05～14:15	8	6	利用者全員避難。車椅子誘導あり、送迎者の駐車位置悪く玄関付近が狭い。誘導困難。怪我の危険性あり。
7月9日	地震	避難誘導	玄関	15:55～16:05	12	6	12名全員参加。玄関が混み合い外に出られない。玄関外のポスト注意。怪我なく全員避難できた。
8月24日	火災	避難誘導	玄関	15:35～15:45	11	6	利用素早く避難できたが、杖を忘れた方1名、職員が杖を持って非難する。
9月22日	火災	避難誘導	玄関	16:20～16:30	8	4	帰宅間際に訓練実施。全介助利用者の非難に時間と人手がかかる。安全に避難できたが、課題多い。
10月19日	地震	避難誘導	玄関	14:05～14:10	11	5	全員参加。歩行可能。職員の指示に従い外へ避難する。
11月23日	火災	避難誘導	玄関	14:20～14:30	8	6	職員の声掛けに落ち着いて避難できる。 玄関のポスト注意。
11月24日	地震 津波	避難誘導	片岡杉の子園	14:20～14:35	9	5	職員の指示に従って非難する。落ち着いて行える。
1月14日	地震	避難誘導	玄関	14:10～14:20	8	4	地震の合図に机の下に入り込んでしまった方が3名。うち1名は膝が悪く立ち上がり困難。避難はスムーズに行える。
1月18日	火災	避難誘導	玄関	14:20～14:25	8	4	職員の声掛けに素早く安全に玄関外へ避難できる。
2月26日	火災	避難誘導	玄関	14:20～14:25	10	4	認知症男性、言葉の理解できず誘導に時間がかかるが混乱なく避難できる。
3月29日	火災	避難誘導	玄関	14:10～14:20	10	4	火事だ！の声にすぐに反応して動き出す。職員の声掛けにて安全に外に出る。

平成30年度 事業報告

3 中央本町杉の子園

<施設全体>

法人の運営理念、経営理念に添って事業を推進し、利用者様の心身の状況等に応じて、常にサービスを受ける方の立場にたった適切な介護サービスの提供に努めました。

また、今年度重点目標に掲げておりました計画に沿った予算執行を職員全員が意識し、目標の稼働率を割らないよう努めてまいりましたが、インフルエンザ等の感染症が利用者様や職員に発症してしまい、短期入所の受入れを一時中止するなど利用者様をはじめ、ご家族、他事業所の方々に多大なご迷惑をおかけしてしまいました。このような状況下、職員一人一人が危機管理意識を持ち一致団結して厳しい経営環境を乗り切ることができました。

<ボランティアの状況>

平成30年度は、下記名の個人・団体の方にご協力いただきました。

落合 美智子様、小泉 文枝様、坂口 利恵子様、下田 美生様、
田原 次子様、藤塚 千代子様、矢部 雅子様、山口 あや子様、
山本 恵美子様、吉池 節子様、尾山 とも子様、佐田 洋子様、
川名 千枝子様、近藤 和子様、廣野 明子様、佐々木 レイ子様、
高橋 栄子様、七丈 恵子様、森本 弘子様、安島 節子様、
吉野 妙子様、堀江 香代子様、渡邊 マスミ様、古田 土和子様、
今石 美恵子様、

(順不同)

<寄付者一覧表>

平成30年度は、下記の個人・団体の方からご寄付を頂きました。

中央本町4丁目町会、中央本町5丁目町会、藤塚 千代子様、小松 裕子様

(順不同)

1 介護老人福祉施設

- ・「ヒヤリハット提出毎月100件」を継続し、リスク委員会を中心に危機管理能力の向上を目指し、支援方法の確立・生活環境の整備を図り重大事故防止に努めました。
- ・それぞれの利用者様に対して相応しい対応を目指し、ご家族との連携強化に努めるための「相談員ご家族アンケート」を実施し相談業務のレベルアップに役立てました。
- ・職場実習・体験の生徒や学生を積極的に受け入れ、若い世代にも開かれた施設を目指しました。
- ・口腔ケア委員会が掲げた月間目標を意識することで嚥下機能の向上や肺炎予防に繋

げることが出来ました。

- ・サービス担当者会議開催時に、個人ケース記録をご家族に提示し利用者様の近況報告に役立てました。

2 短期入所生活介護

- ・感染症の蔓延により、短期入所の受入れを制限することになってしまい、利用者様をはじめご家族、事業所の方にご迷惑をお掛けすることになってしまい安定したサービス提供を行うことができませんでした。
- ・利用者様、ご家族、介護者に対して、利用に関する契約内容を記載した契約書等の説明を行い、これを理解の上、安心してご利用して頂けるように取り組みました。
- ・利用者様の心身の状態を把握し、万一ご利用中に状態変化があった場合は、速やかにご家族へ連絡し、迅速な対応をさせていただきました。
- ・毎回の送迎を相談員が対応する事により、施設でのご様子をご家族、介護者により詳しくお伝えできるようにしました。
- ・季節行事等の園内活動にもご参加いただき、社会的交流の中で楽しみを見つけていただく事ができました。
- ・区内の居宅事業所への訪問や短期入所独自のパンフレットを作成し、利用率向上に努めました。
- ・高齢者虐待等により保護を必要とする緊急ショートステイの受け入れを積極的に行いました。

3 通所介護

- ・年間を通して、各職種が連携しながら目標に掲げていた稼働率を達成する事ができました。
- ・ご家族や介護支援専門員との連絡を密にとり、利用者様に合った通所介護計画書を作成してサービスの実施ができるよう努めました。
- ・利用者様から要望を伺いながら、外食行事や毎日の活動をより一層充実させ、一日を利用者様のペースに合わせて楽しくお過ごし頂けるよう取り組みました。
- ・送迎マニュアルを基に、送迎時や園外活動時の車の運転には充分注意し、安心してご乗車いただけるよう安全運転で対応させて頂きました。
- ・利用者様個々の身体状況を踏まえて、自立支援の介助や個別機能訓練を充実させ、在宅生活を継続できるように支援させて頂きました。

4 訪問介護

- ・高齢者の皆様が住み慣れた地域において、安心できる自分らしい在宅生活を維持、継続できるべく、介護、福祉、医療の専門職や地域包括、福祉事務所などの関係機

関との連携を密にとりながらご利用者様への質の高いサービス提供を行いました。

- ・ご利用者様への質の高いサービスを継続的に実現させるために、定期的にヘルパー研修を行いました。
- ・苦情、要望の受付をサービス向上、改善の絶好な機会と位置付け、苦情、要望に関わる相談の受理後、組織全体で連携を密にしつつ、迅速にかつ丁寧に対応に努めました。

5 居宅介護支援事業

- ・利用者様、ご家族はもとより、事業所・行政・地域から信頼される事業所をめざし、中立・公平な立場で利用して頂ける様努めました。
- ・地域包括ケアシステムの充実により、介護保険の基本的理念、自立支援を観点に利用者様が安心して在宅生活が営めるよう医療・介護・他職種が協働、役割分担を明確にし連携を強化しました。
- ・要介護者と認定された利用者様には、アセスメントからその方のニーズに応えられる居宅サービス計画書を作成しました。
- ・居宅サービス計画が適正であるか、サービス担当者会議を通じて利用者様・ご家族、及び介護者からのご意見を戴き、サービス事業者からの情報収集に努めました。
- ・利用者様、ご家族の苦情はサービス改善に発展させていくために、情報収集し、利用者様、ご家族の立場にたち、迅速な対応に努めました。
- ・介護支援専門員として、職種の専門性を高めるため、区や都の研修には積極的に参加し、研鑽に努めました。

6 地域包括支援センター

- ・医療保健・介護・福祉・健康を中心とした公的な総合相談窓口として、地域の皆様、専門機関、行政と連携し、地域共生社会の実現に向けた相談支援を実施しました。
- ・自分自身の健康づくりについて高齢者の意欲が高まることを目指して、高齢者の方々が理解しやすい言葉や視覚で分かりやすく伝えられる資料を作成、活用し介護予防教室を行政、地域、専門機関と協力して開催しました。
- ・高齢者虐待ケースや消費者被害支援等、地域において困難な生活状況にある高齢者に対して、尊厳のある生活を維持し安心して生活を送ることができるよう、専門的・継続的な視点から高齢者の権利擁護のための支援を多機関、多職種と連携を実施しました。

平成30年度 月別防災訓練実施表

特別養護老人ホーム中央本町杉の子園
高齢者在宅サービスセンター中央本町杉の子園

	月 日	種別		訓練内容	時間	参加人数			計画作成 担当	訓練実施結果	
		地震	火災			職員	利用者	その他			
予定	4/25	○		総合訓練	夜間想定	AM10:30～AM10:45	4	69		特養	夜間想定訓練は入所者状況による訓練内容も様々、夜勤担当職員が迅速に行動できるようシフトを考えながら訓練に参加し、有事に対応できるようにしておく
実績	4/25										
予定	5/23	○		総合訓練 通報伝達訓練(災害対策メール)	日中想定	PM 2:30～PM 3:00	20	68		特養	他階がどんな状況なのか放送が流れないので各階が迅速に伝達出来るものがあると良い。訓練時間帯に職員がフロア滞在が多く即座に対応ができた。オクレンジャー83名送信、既独40名。全体48%
実績	5/23										
予定	6/27	○		総合訓練 建物等の自主点検	夜間想定	PM 2:30～PM 3:00	8	66		特養	守衛・各夜勤者ペアのシミュレーションをしながら訓練を実施。視えない部分やどこを起点に行動すべきかを考えることで、動きを通し知ることができたと思う。まずは自身の身の安全を考えながら動く。
実績	6/29										
予定	7/25	○		総合訓練 応急救護訓練・通電訓練(災害対策メール)	日中想定	PM 2:30～PM 3:00	10	66		特養	応急救護訓練はAED用いた訓練を行った。AED訓練を通して迅速に行動することで命の明かりを消さず救う事ができる。その為には日ごろからAEDを使用できるようにしておく。
実績	7/25										
予定	8/22	○		総合訓練	夜間想定	PM 2:30～PM 2:50	4	61	1	特養	落ち着いて各自が行動出来た。その後確認作業が遅れたので各自がどう動くのか日ごろからマニュアルの周知しておくこと
実績	8/29										
予定	9/26	○		総合訓練 通電伝達訓練(災害対策メール)	日中想定	PM 2:30～PM 2:55	21	89		特養 ダイ	施設全体訓練を実施。入浴室や家族用ヘルメット、頭巾を設置していないため、今後は有事の際に備え設置を検討していく。災害メール返信率約7～8割、意識が上がっている。
実績	9/27										
予定	10/24			水害訓練 通報伝達訓練(災害対策メール)	日中想定	AM 11:00～AM11:30	8	62		特養	ゲリラ豪雨を想定した訓練実施。2階利用者様を3階に誘導するのにどのくらいの時間を要するのか所要時間の測定を行った。
実績	10/24										
予定	11/28	○		総合訓練 建物等の自主点検	夜間想定	PM 2:30～PM 3:00	4	66		特養	各職員マニュアルに沿って落ち着いて安全確認が行えた。2階更衣室火災想定、2夜勤と準夜の二人で火元確認から初期消火及び連絡を行った。互いに声掛けができていた。
実績	11/28										
予定	12/19			水害訓練 簡易土のうを持ちい水害対策	日中想定	PM 2:30～PM 3:15	7	62		特養	ゲリラ豪雨の際、早期の対応が重要であり、エレベーターが使用できるうちに3・4階と連携を図り、2階利用者様の避難を行う。簡易土のうを使用し土のうに水を膨らませ数個重ねて使用できるか試した
実績	12/26										
予定	1/23	○		総合訓練	日中想定	PM 2:30～PM 2:50	15	85		特養 ダイ	チェックシートを出すの忘れ行動が遅くなった。又、報告する順番を間違えバラバラに報告してしまったと反省があり。基本は慌てず、一つ一つ利用者安全確認しながら行う事が大事
実績	1/29										
予定	2/27	○		総合訓練	日中想定	PM 2:30～PM 3:00	11	61		特養	担当リーダーの指示で落ち着いて行動ができた。たんに確認だけではなくいつでも避難できるよう離床の介助も行う。消防隊員入口の確認と消火器使用期限の確認も行う。
実績	2/27										
予定	3/27	○		シェイクアウト訓練	日中想定	AM9:30～AM9:50	25	70	1	特養 ダイ	足立区から訓練お知らせがあり 3.11東日本大震災の日に合わせ訓練を行いました。1.姿勢ひくく。2.頭を守る、3.動かない」の3つ安全行動を1分間行いました。
実績	3/11										
	備考		状況により訓練内容・時間を変更する場合がある。								

平成30年度 事業報告

4 住吉杉の子園

<施設全体>

平成30年度は、自立支援や重度化の対応や人材の確保について取り組む計画を作成したが、職員の退職が多く日々の業務を遅滞なく行う事が精一杯で新たな取り組みにまで至りませんでした。さらに介護人材の不足が深刻化し年度後半の12月より短期入所生活介護を休止する事になり、地域介護サービスの低下を招く結果となってしまいました。さらにユニットケアでの介護職員の働き方を見直しする時期が来ている事を痛感した年度となりました。

<ボランティア状況>

平成30年度は下記の個人・団体の方にご協力いただきました。(順不同)

あじさいの会・増田かよ・山下ひとみ・杉本幸枝・松琴会・琴ころり
月丘さくら・足立真由美・岡田智行・小さな歌の会・ちどり幼稚園
住吉小学校児童クラブ・県立清流館高等学校吹奏楽部・なかよし座
ハイビスカス・吉田町文化協会三味線部糸音会・榛原太鼓・吉中保次
マジックシックス

<寄付者一覧>

平成30年度は下記の個人・団体の方からご寄付をいただきました。(順不同)

絹村弘子・久保田武・大石春雄・太向勝男・住吉区民生委員
住吉区婦人部

1) 介護老人福祉施設

- ・ 委員会や介護課等の部署会議を定期的を開催する事ができなかった為、職員へは掲示板を使用するなど伝達方法の工夫を行いました。
- ・ 安定的な運営をする為に、空きベッドを作らない工夫を行いました、さらに介護度の見直しを定期的に行い、入居者様の現状の介護に見合う介護度に変更申請をする事を積極的に行いました。
- ・ 身体拘束廃止に継続的に取り組み一年を通じて身体拘束者0人となりました。
- ・ 感染委員会を中心に活動を行った結果、施設内での感染症を出す事なく無事に過ごす事ができました。しかし、面会制限中の入居者様への精神的ケアなどの課題が見つかるなどした為年度内で話し合い、来年へ引き継ぎを行いました。
- ・ おやつや行事食をはじめ、食についての行事を行いました。今年度は新メ

- ニューに挑戦を行い好評でした。
- ・ 喫茶杉の子については、吉田町の積極的な PR 活動の後押しと管理栄養士の栄養講座への取り組みによって、地域の方に来園していただく事ができました。
 - ・ 看取り介護について今年度も積極的に行いました。ここ数年取り組んでいる結果を高齢者福祉研究大会にては発表する事ができました。
- 2) 短期入所生活介護
- ・ 営業日の工夫（休止の日作る）を行い、人材が少ない中でも営業を続けてきましたが、12月に中止をせざるを得ない状況になり残念な結果となりました。しかし再開を望む声を頂きありがたく思っております。
- 3) 通所介護
- ・ 慰問の方に大勢お越し頂き、地域の方との交流を図る事ができました。
 - ・ 要介護者の方の利用を意識的に行い、リクライニング車椅子利用の方や周辺症状のある認知症の方の受け入れ行う事ができました。

平成30年度

月別防災訓練実績表

特別養護老人ホーム住吉杉の子園

住吉杉の子園デイサービスセンター

月 日	種別			訓練内容	時間	参加予定人数			備考	
	地震	火災	安否			職員	利用者	その他		
(4・17)		○	○	避難誘導訓練/安否 メール(火災想定)	日中想定	AM10:00~AM11:00	長3短1	長42短6	事務所	防災用品の点検
火			伝達訓練				通3	通16	寺島	
(5・22)		○	○	避難誘導訓練/安否 メール(火災想定)	日中想定	AM10:00~AM11:00	長3短1	長41短8	事務所	
火			伝達訓練				通3	通14	三輪	
(6・19)		○	○	避難誘導訓練/安否 メール(火災想定)	日中想定	AM10:00~AM11:00	長3短1	長41短6	事務所	
火			伝達訓練				通3	通12	三輪	
(7・17)		○	○	避難誘導訓練/安否 メール(火災想定)	日中想定	AM10:00~AM11:00	長3短0	長43短0	事務所	
火			伝達訓練				通3	通15	三輪	
(8・21)		○	○	避難誘導訓練/安否 メール(火災想定)	日中想定	AM10:00~AM11:00	長3短0	長42短0	事務所	防災用品の点検
火			伝達訓練				通3	通14	三輪	
(9・21)	○	○	○	避難誘導訓練/安否 メール(火災想定)	日中想定	AM10:00~AM11:00	長11短0	長45短0	事務所	通報訓練
金			伝達訓練				通6	通11	寺島	
(10・16)		○	○	避難誘導訓練/安否 メール(火災想定)	日中想定	AM10:00~AM11:00	長9短0	長41短0	事務所	
火			伝達訓練				通4	通18	増田康	
(11・6)	○	○	○	避難誘導訓練/安否 メール(火災想定)	日中想定	AM10:00~AM11:00	長14短0	長40短0	事務所	ライフジャケット 装着訓練
火			伝達訓練				通5	通18	三輪	
(12・18)		○	○	避難誘導訓練/安否 メール(火災想定)	日中想定	AM10:00~AM11:00	長9短0	長41短0	事務所	
火			伝達訓練				通5	通17	増田康	
(1・22)		○	○	避難誘導訓練/安否 メール(火災想定)	日中想定	AM10:00~AM11:00	長9短0	長40短0	事務所	
火			伝達訓練				通5	通17	寺島	
(2・19)		○	○	避難誘導訓練/安否 メール(火災想定)	日中想定	AM10:00~AM11:00	長9短1	長40短0	事務所	
火			伝達訓練				通4	通15	寺島	
(3・19)		○	○	避難誘導訓練/安否 メール(火災想定)	日中想定	AM10:00~AM11:00	長9短1	長40短0	事務所	
火			伝達訓練				通5	通14	三輪	
備考										

平成30年度 事業報告

5 杉の子介護初任者研修事業

吉田町保健師3名と吉田町社会福祉協議会介護福祉士1名さらに法人からも新規に講師を派遣し、講義内容の充実を図る事ができ初任者研修事業を開催する事ができました。さらに、新規採用した職員が受講し職員育成の目標を達成する事が出来ました。

第1回 平成30年5月12日から平成30年7月29日 中止

第2回 平成30年8月18日から平成30年11月10日 開催

参加者 5名